

2023年9月25日

報道関係各位

 **UNICOLUM CO.,LTD.**
Richness of the mind and heart!
株式会社ユニコロン

環境に配慮したメガネケースを
株式会社ムラタ メガネのプリンスより発信
全国のVLS(ビジョンライフサロン)加盟店
20社・全国470店舗で採用
10月からいよいよ店頭

株式会社ユニコロン（本社：北見市、代表：吉岡 大）は、環境に配慮したメガネケースを10月1日にリリース。株式会社ムラタ メガネのプリンス（本社：札幌市、代表：内間木 義勝）と共同企画し、VLS（ビジョンライフサロン）加盟20社の賛同を得て、全国の470店舗で採用される。





環境に配慮したメガネケースとは

①廃棄される卵の殻を(10%)パルプに混ぜ込んだ CaMISHELL®という次世代のエコペーパーを使用。産業廃棄物の削減と、ファインペーパーと比較してCO2やメタンなどの温室効果ガスの排出量の約18%削減を実現。FSC®森林認証紙を使用

※CaMISHELL®は株式会社SAMURAI TRADING(本社:埼玉県桶川市、代表:櫻井裕也)が開発したもの

「CaMISHELL®」の価値



価値1
リサイクル・森林保全に貢献

価値2
2つのマークで環境配慮をPR

原料のパルプにも「FSC®」森林認証紙が使われているため
「CaMISHELL®」と「FSC®」2つのマークを使用できます



※ FSC 森林認証紙とは ◎

適正に管理された森林から産出した木材などに 認証マークを付けることで持続可能な森林の利用と保護を図ろうとする制度です。FSCロゴマークのついた製品を使うことで環境保全に対する取組みをPRできます。

脱プラスチックにも貢献

② マングローブの植林もよる CO2 の削減

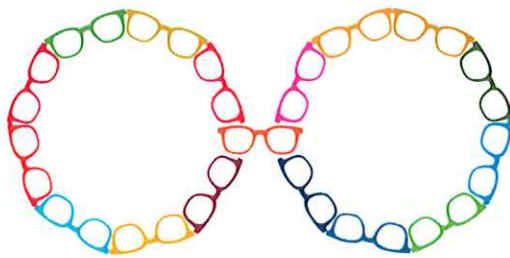
メガネケース 100 個でマングローブを 1 本植樹

マングローブは CO2 の吸収率が高いと言われており、初回の 394 本の植林により、1 年間で 3940 kg、20 年間で 78800 kg のカーボンオフセットを実現。

※植林は 10 月にフィリピンのセブ島で実施

③ 脱プラスチック

④ メガネ業界全体で SDGs の取り組みを強化推進することを目的に VLS SDGs ロゴと規約を提案し採用。



Vision Life Salon original SDGs Logo.

SDGs が掲げる持続可能な 17 の開発目標を眼鏡の形で繋げることで加盟店やお客様の繋がりを大切に、色鮮やかな未来を無限大 (∞) に広げていくことを表現。

⑤ 加盟店各社が店頭に掲示するポスターを作成



未来をつくらう。

私たちは競業する関係性を飛び越え、地球環境の保全に取り組むために手を取り合いました。

- メガネのアプリンス
- メガネセンター
- 高田眼鏡店 東京
- 高田眼鏡店 大宮本店
- アスクラメガネ
- KINMIDO
- アイメガネ
- メガネのイタガキ
- 新浜眼鏡屋
- メガネの和光
- 安心堂
- 一貫堂
- メガネのマスター
- メガネのインガミ
- メガネの金剛
- メガネのやまもと
- メガネのアイ
- メガネのひらまつ
- メガネのモチダ
- メガネのヨネザワ
- 東江メガネ



- ① 廃棄物の削減
消費される紙の殻を使用した紙製メガネケースの採用
- ② リサイクルによる循環
不要になった際は、紙資源としてリサイクル
- ③ 森林の保全
森林の管理が徹底された、FSC 認証を受けたパルプを採用
- ④ マングローブの植林による CO2 削減
初回 394 本を植林し、3,940kg/年のカーボンオフセットを実現
※20年間で 78,800kg のカーボンオフセット

⑥植林活動の際に着用するTシャツを作成



担当者コメント

株式会社ムラタ 専務取締役 加藤 千加子



今回の SDGs の活動は環境保護への思いがある沢山の方々のご協力が形になったと思っております。弊社はお陰様で今年度創業 60 周年を迎える事ができました。私達は 100 年企業を目指しております。なのでこれからも、お客様の為、従業員の為、環境問題にもしっかりと取り組まなければならないと思っております。



当社が SDGs の取り組みの一つとして CaMISHELL®を使用した紙ファイルを使いだし、その後 24 社共同で同一デザインのファイルを作る企画にプリンス様にご賛同いただいたのが発端です。プリンス様は常に環境保全や社会貢献などを考えられ SDGs に率先して取り組まれていることから、CaMISHELL®を使用したメガネケースを作りたいとのご要望を受け実現しました。

当初予定していなかった VLS 加盟店へもこの活動を広めてくださったことから、更なる環境保全につながるマングローブの植林活動や VLS としての SDGs ロゴを作ることもつながりました。

※ファイルの企画の際に北海道新聞様に取り上げていただいた紙面

ファイルに卵殻 環境に貢献



卵の殻を再利用した紙を使ったファイルの見開きイメージ。取り組みに賛同した道内企業などの社名が掲載されている（ユニコロン提供）

企業向けユニホーム販売のユニコロン（北見）が企画した。同社は鶏卵販売業「たごころ」も営んでおり、産業廃棄物となる卵の殻を活用できないか検討。環境保護への取り組みを発信するため、昨年8月から、三等製紙（東京）などが開発した卵殻の粉を混ぜたA4判の紙ファイル

異業種25社、紙製でプラごみ削減へ

道内のユニホーム製造、眼鏡販売、菓子製造販売などの企業25社が連携して、卵の殻を混ぜた紙製のファイルに社名を連名でプリントし、取引先などに配布する取り組みを始める。プラスチックごみの削減につなげ、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の表現に協力する姿勢をアピールする狙いもある。関係者は中小企業単独では難しい環境問題への取り組みとして活動を広げたい考えだ。（阿部里子）

社名印刷 取引先に配りアピール

で、早ければ2月から計1万3千枚を配り始める。参加企業はそれぞれ制作費約3万3千円、約8万円を負担。額が大きいほど割り当て枚数も多く、表示される社名のロゴが大きくなる。約4万5千円の場合、ファイル500枚、ロゴは縦3・4センチ、横5・2センチ。学生向け会社説明会で配布を検討する企業もあり、幅広い年齢層へのPR効果も期待できる。

ムラタの加藤千加子専務（49）は「複数の会社ですぐに取り組めるのは魅力的だ、食品包装資材製造の五洋商会（旭川）の牧原史典社長（48）は「自社に関心をもちてもらうきっかけになれば」と歓迎する。

第2弾の募集も始めており、林業や人材派遣業など9社の申し込みがある。ユニコロンの吉岡大社長（41）は「環境問題への取り組み方に悩む中小企業は多いはず。業種を問わず連携したい」と話す。



株式会社ムラタ メガネのプリンスについて

北海道を中心に海外も含め 70 店舗以上を展開。

社会の発展に貢献しサステナブルな社会を実現するために、福祉施設を訪問し眼鏡を寄贈したり、似顔絵コンテストや学生とのコラボ企画を立ち上げたり、SDGs に関わる活動を多く実践。

会社概要

社名：株式会社ムラタ メガネのプリンス

本社所在地：札幌市厚別区厚別南 2 丁目 11-31

代表取締役：内間木 義勝

事業内容：眼鏡販売

設立：1976 年

HP: <https://www.mega-pri.co.jp/>

株式会社ユニコロン

本社北見、十勝、釧路、旭川、札幌と道内 5 カ所で企業向けのユニフォームを中心に展開。環境、安全、地域社会への貢献の 3 本柱を掲げ、近年はブランディングデザインの一環として、ユニフォーム以外の取り組みを強化。

会社概要

社名：株式会社ユニコロン

本社所在地：北見市緑町 4 丁目 2 番 4 号

代表取締役：吉岡 大

事業内容：企業向けユニフォームの販売、鶏卵の販売、デザイン事業

設立：1984 年

HP: <https://www.unicolum.co.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社ユニコロン 代表取締役 吉岡 大

TEL 011-792-5100

携帯 080-3298-8106

Mail: d.yoshioka@unicolum.co.jp